



1 新校舎、建設始まる!



起工式

10月11日(金)大安、秋晴れの中、工事の安全や円滑な進行を祈願する【起工式】が執り行われました。これから本格的に工事が始まり、来年12月頃に新校舎が完成する予定です。そして2026年 IT短大は「情報テクノロジー-大学校 (IT大学校)」に生まれ変わります。

2 応援メッセージ

TO MOBE TO MOVE
友部で未来を拓く



県立IT未来高等学校



津賀宗充 校長

昨年4月に開校した県立IT未来高等学校は2年目を迎えます。充実した施設設備の中で、ITスキルを身につけています。また、在学中からITを活用した地域課題の解決にも取り組んでいます。

津賀宗充校長からは「豊かな人間性と起業家精神を兼ね備え、次代を担うIT人材を目指せ!!」とエールを頂きました。



県立笠間高等学校



渡邊英一 校長

県立笠間高校は、「芸術のまち笠間」に位置する創立116年の伝統校です。時代や地域の要請に応じ、学科変更がおこなわれ、現在は、「普通科」、「美術科」、「メディア芸術科」の3つの学科を持つ学校です。渡邊英一校長からは、「IT技術を活かし、伝統の継承と更なる躍進!!」とエールを頂きました。



普通科 かーくん
メディア芸術科 まーくん
美術科 さっちゃん

3 『記事トレ』紹介



本校では、IT専門力に加え社会人基礎力の向上のため『記事トレ』を実施しています。新聞を読み、要約とIT技術者としての感想を書くトレーニングを通して読み解く力を育成します。

＜記事トレ＞日本経済新聞(2024年10月10日)
時代を映すAIのノーベル賞

●飛田美優さん(勝田工高卒)

◇要約:ノーベル賞の物理学賞と化学賞で、AIの研究者が相次いで受賞した。AI研究の受賞は前例がなく、今回の受賞が初めてだ。

これからの科学とAIがどのようにかわっていくのか注目が高まっている。

◇感想:今回の記事を読んで、今の科学技術とAIは想像以上に密接に関係していることが分かった。

技術を正しく安全に使うためには、先ず知ることが大切だと思う。AIを実際に使いどのように発展するか注目していきたい。

●富永誠也さん(太田一高卒)

◇感想:AIの研究者がノーベル賞を受賞したことで、これからのAI研究はより活発になるだろう。

しかし、AIが人間を排除するリスクが懸念されている。国際社会がそれらの対策について考えていくことが求められている。

●村澤伸弥さん(勝田工高卒)

◇感想:AIの登場により、これまでとは比べ物にならない程、科学や文化が発展している。

しかし、AIの扱い方を一歩間違えれば人類を滅ぼしかねない。SF映画のようにAIが人類に歯向かうことがないようにしたい。

●木元心結さん(多賀高卒)

◇感想:私はAIは既にノーベル賞を受賞していると思っていたので、今回が初めての受賞と聞いて驚いた。

AIはとても便利なものであるが、人間の仕事が奪われたり、考える力が弱まる可能性がある。気を付けて付き合っていく必要があると感じる。

●高木皓貴さん(水戸啓明高卒)

◇感想:AIの研究がノーベル賞を受賞するほどAIは進歩し、人々の暮らしに欠かせないものとなっている。

一方で、AIの進歩が懸念材料となることもある。人々はAIを単に使うだけでなく上手く活用していかなければならないと思う。

